

～「支え合い・高め合い・学びあう」学校の創造～

矢渕中学校通信

～なかまとともに探究し、自己を高める生徒の育成～

R7. 6. 27 (金)

NO.4

【矢渕中学校 発行】

主体的・対話的で深い学びへ

～シリーズ「学びの履歴」～

<一人残らず学びの権利を実現する>

本校では「一人残らず学びの権利を実現する」という学校経営方針に基づく具体的目標の達成にむけ、今年度より「個人・学年・全体」研修として授業研究協議会を年11回開催し、協同的で探究的な学びの実現に向けた研修を行っています。

5月30日(金)には、第1回公開授業研究会(全体研修)がおこなわれました。「仲間とともに探究し、自己を高められる授業づくり」を研修テーマに“協同と探究”“質と平等の同時追求”をキーワードとして、子どもたちの学びの質を高めるための授業について、町内外幼小中学校からも来校いただき、また、講師として齋藤智哉(國學院大学)教授を招聘し、子どもたちの学びの様子から、課題や成長について協議を深め、今後の矢渕中学校の授業改善につながる協議会を持つことができました。



社会の授業(3年3組)



授業研究協議会

この日は3年3組社会科『平和と民主化への動き』の授業公開でした。授業開始と同時に前時までの学習内容の確認が行われ、その後、「米ソの主導権争いが世界の分断を深めたことを理解する」ための課題にグループで取り組みました。

「ソ連の崩壊とともに NATO への加盟が増えた」

「ソ連に近い所は NATO への加盟が遅い」・・・等、資料からの読み取りをもとに、「それはなぜか、相談してみて」という授業者の返しによって、各グループでの学びがさらに深まっていました。

職場体験学習



6月3日(火)からの3日間、2年生において45事業所のご協力を得ながら「職場体験学習」がおこなわれました。

4月上旬の「希望集約」から2か月間にわたって取り組んできた活動ですが、貴重な経験ができた3日間だったと思います。

いくつかの事業所を回りましたが、担当の方からは「生徒さん、がんばってくれてます!」という声をかけていただきました。今回の経験を今後の活動に活かしてほしいと思います。



職場体験学習(2年生)

「矢渕中タイム」実施



矢渕中タイム

学校における「ケアリングと伴走者としての役割」「ウェルビーイングの実現」の重要性が増してきています。その実現にむけた活動のひとつとして「教育課程内および自主的な学び」の支援に学校全体で取り組む「矢渕中タイム(アゲイン)」を行っています。

今年度からはじめての取組ですが、目的のひとつである“子どもたちの心理的安全性”を高める活動となっていくよう、活動内容を検討しながら取り組んでいきたいと思っています。

教育
目標

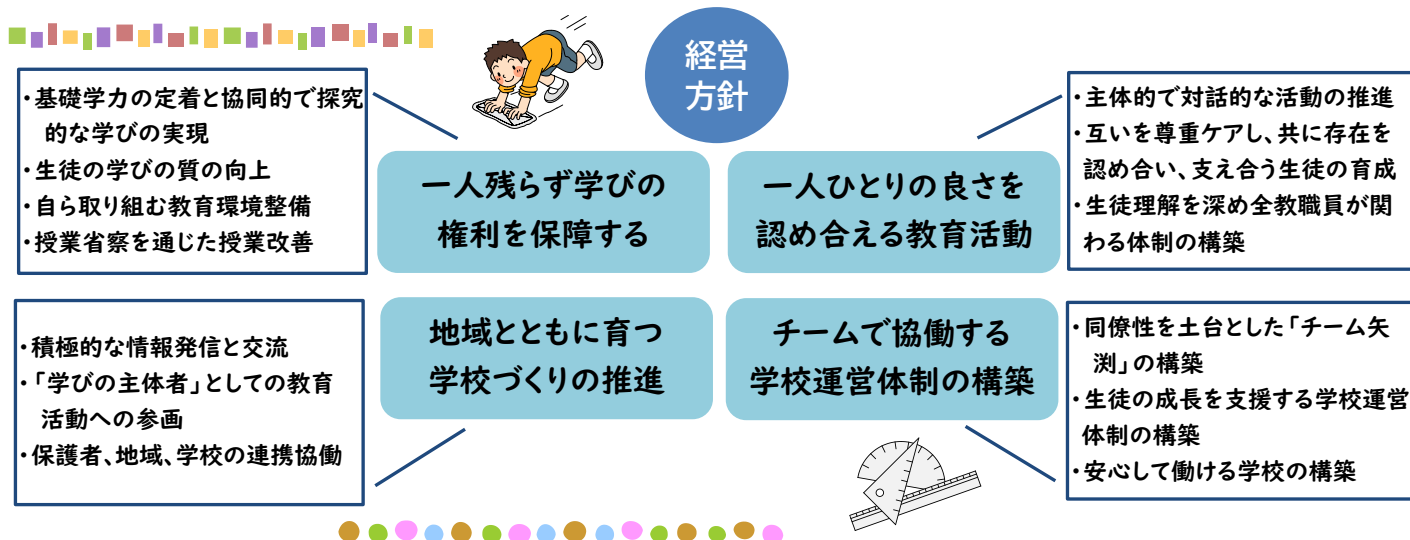
「支え合い・高め合い・学び合う」学校の創造

決定 矢渕中学校「学校経営方針」

今年度をスタートするにあたり、本校では全教職員参画のもと、「学校経営計画」を策定しました。経営方針の柱となる「教育目標」を

「支え合い・高め合い・学び合う」学校の創造～なかまとともに探究し、自己を高める生徒の育成～とし、その実現にむけ教育活動をすすめているところです。

先日開催された「矢渕中学校『学校運営協議会』」においても方針を承認していただき、引き続き、「学校一地域一家庭」が一体となって子どもたちの成長を見守っていくことが確認されました。保護者のみなさまにおかれましても、ご支援・ご協力をお願いします。



今月の予定

お知らせ

- 4日（金）壮行会
- 5日（土）～6日（日）中体連地区総体〔予備日：7月12日（土）〕
- 7日（月）救急救命法講習〔1年〕
- 8日（火）救急救命法講習〔2年〕
- 9日（水）救急救命法講習〔3年〕
- 7日（月）～10日（木）個別懇談会
- 11日（金）第2回育友会合同会議
- 18日（金）終業式



救急救命法（昨年度の様子）

7月5日（土）～6日（日）に熊野市南牟婁郡中学校総合体育大会が開催されます。運動部活動に所属している子どもたちにとっては目標にしてきた大会となります。子どもたちの活躍を期待したいと思います。会場や運営方法等についての詳細は、後日、各部活動を通じて連絡がありますので、ご確認いただきますよう、よろしくお願いいたします。

〔「矢渕中ブログ」にて各部活動の紹介を掲載中です〕

育友会親睦行事

6月15日（日）、本校体育館において、今年度の育友会親睦行事「ユニカール大会」が開催されました。9チームによる総当たり予選リーグと順位決定戦をおこないましたが、どのコートからも1投ごとに歓声や声援があがり、大いに盛り上がった大会となりました。

日頃より、本校教育活動にご理解・ご協力いただいている保護者のみなさんと、少し日常（子どもたち）から離れ、保護者・教職員との親睦を深める、そんな機会になったのではないかと感じています。

